

## 新年のご挨拶

西武健康保険組合  
理事長 新田 力

2024年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

先ずは、このたび石川県能登地方を震源とする大規模な地震により犠牲となられた方々にお悔やみ申しあげるとともに、被災されたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また、日ごろより当健康保険組合の事業運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年はマイナ保険証対応や少子化対策等への財源確保を目的とした社会保障改革など、健康保険組合事業運営に関係するテーマが政府において議論されてきました。本年はその方向性がまとめられると思いますが、組合員の皆さまには適切なタイミングでご説明いたします。

このような状況の中で当健康保険組合は一昨年の保険料率改定などにより2022年度は3年ぶりの黒字決算となりました。しかし今後一層の高齢化社会の進展を考慮すると決して楽観視することはできません。支出の大きい部分を占める医療費負担を抑制するためには皆さまの日常からの取り組みが必要になってきます。最新の健康スコアリングレポートでは前年度比較で少しずつの改善が見られました。これは日ごろからの成果が表れた結果です。

広報誌 Smile Life でも各社の取り組みをご紹介しますが、事業特性、環境に合わせて参考にさせていただければと思います。当健康保険組合でも昨年「休暇村」が新たに契約保養所に加わりました。今後も新しい施設に加入していただくように検討してまいりますので、ぜひ健康づくり、リフレッシュにご活用ください。

昨年、大学病院教授による「老化は制御可能か」というテーマでセミナーが開催されたので聴講してまいりました。ゲノム、遺伝子、細胞等科学的要因に基づいた分析がなされておりましたが、結論としての対応は食事、運動、禁煙に集約されていました。やはり日常からの心がけに尽きるということです。若い方には老化はまだ先の話と思われるかもしれませんが、この点を肝に銘じていただきたいと思います。

本年も西武健康保険組合は皆さまとともに健康な生活をサポートしていく所存ですので、ご協力よろしくお願いいたします。